

こもれび

題字 北村正平市長



2/1～2/2 東海四県スポーツ推進委員研究大会にて

第18号

- ・第12回藤枝リバティ駅伝(1/20)
- ・ワンバウンドふらば～るプレ大会(1/27)
- ・第66回東海四県研究大会(2/1、2)
- ・ウォーキングサッカー(2/24)
- ・第26回ふじえだマラソン(3/10)

編集・発行
藤枝市スポーツ推進委員会
広報部

2019年3月27日



第12回藤枝リバティ駅伝

平成31年1月20日(日) 大井川マラソンコース「リバティ」

今年もやってきました、藤枝リバティ駅伝。参加チームも去年より8チーム増えた319チームで行われ、途中天候も不安定となりましたが、何とか無事に終了することができました。

今年で12回を迎えた藤枝リバティ駅伝大会が、1月20日大井川マラソンコースリバティで行われました。曇り空でしたが風もなく例年にない暖かい一日でした。その曇り空の下、319チーム1,595人のランナー達が参加しました。小学生は10km、中学生・高校生・一般は15kmの距離を5人で走り、「たすき」でそれぞれの思いを繋ぎました。

参加したランナーの皆さんは、日ごろの鍛錬の成果を発揮したランナー、参加することに意義を見いだしているランナー等様々です。それぞれが自分の思いを抱き、一本の「たすき」を次の方に繋げながらゴールを目指し、懸命に走り抜きました。勢いよく余裕で走るランナーや、へろへろでも力を振り絞りながら走るランナー達が、目の前を通りすぎて行きました。そんなランナーを応援するコース沿いの人達や会社の同僚による声援で、勢いが上がる姿も見られました。

終盤には雨となりましたが、そんな雨にも負けずに走るランナー達が次々とゴールに吸い込まれて行きました。



走路保安担当である私は、薄暗い朝からマラソンコースで準備を開始し、コース上に立ち、応援の方々が、ランナー走行中にコースを横断しないように気を付け、ランナーが快適に走れるよう目を配りました。

最終ランナーがゴールするまで競技が安全に終わるように対応しました。

大会終了後、熱い豚汁のサービスがあり寒く疲れた体に染み渡りました。

今回のランナーの皆さんが、来年もこのコースで走ることに期待したいと思います。

松本 司

冬本番で寒い1月。藤枝リバティ駅伝が20日に開催されました。今年初めて、スポーツ推進委員としてお手伝いさせて頂き、受付を担当しました。これから走る参加者に誠心誠意のお声掛けを心掛けました。「くれぐれもお怪我に気を付けて！」「頑張ってくださいネ！」とお一人お一人にお伝えしました。その際の参加者皆様の“これから頑張って一生懸命走るぞ、”という意気込み、そして何よりも“笑顔、”の眩しさがとても印象的でした。寒い中でも、参加者の方々の熱意で、私自身もたくさん元気を頂くことができました。

スポーツ推進委員での活動を、昨年私事ですが“乳がん、”になり、たくさんご迷惑をお掛けしましたが、今は元気で普通に生活できています。健康の大切さ...汗を流して運動できる楽しさ...。今年は私ももっとリバティ駅伝で頂いた“笑顔、”にたくさん出会える様に推進委員活動に参加して行きたいです。

塚本 未央



<参加チーム数>

小学生の部	43
中学生男子の部	11
中学生女子の部	3
高校生男子の部	9
高校生女子の部	2
一般男子の部	76
一般女子の部	11
一般男女混合	164
	319

ワンバウンドふらば～るプレ大会

平成31年1月27日(日) 焼津シーガルドーム

焼津・島田・藤枝の3市から総勢24チームが焼津シーガルドームに集い、ワンバウンドふらば～るの普及及び健康づくりと仲間づくりを目的として楽しい一時を過ごしました。

藤枝・焼津・島田の各8チーム計24チーム(推進委員を含む)でのワンバウンドふらば～るプレ大会が開催されました。各チーム共楽しんでいる中にも、勝ちを意識して試合をしていて焼津のチームのレベルが高かったように感じ、藤枝は守りは良くても攻めの部分が少し弱かったのではないかと思います。

私は審判をしていたのですがミスジャッチや見逃しがあり、ジャッチ一つで試合の流れが変わってしまう事があるのでとっさの判断力をつけたいです。

推進委員になり約一年が過ぎようとしていますが推進委員として誇りを持って地域に貢献していきたいです。

牧田 省吾



第66回東海四県スポ推研究大会 IN 豊橋

平成31年2月1日(金)～2月2日(土)豊橋市総合体育館ほか

今年は今愛知県豊橋市をメイン会場として、東海四県スポーツ推進委員研究大会が、大勢の参加者が集う中、盛大に執り行われました。式では103人の功労者表彰があり、我々の仲間である三浦通広さんと岡村龍行さんが表彰を受けられました。来年は浜松での開催です。

この度の功労者表彰を受け、私の推進委員としての17年間を振り返ってみました。

ある日突然、推進委員にと声をかけて頂き、なにもわからないまま引き受けました。初めての委員会で、当時の委員長から「一期二年の任期だが、一期十年のつもりで勤めてほしい。」と言われ、その時はそういうものなのだと納得し、自分のできることすべてに参加してきました。それから、無我夢中で推進委員を勤め、気が付けばすでに17年が経っていました。長年経験させて頂く中で、地域の方々や推進委員の方々との出会い、交流を深めることで、多くのことを学ぶ機会を頂きました。

このような機会を頂いたことに感謝するとともに、今後多くの方にもこのような経験をして頂けると良いと考えております。

三浦 通広



「昨日は、良いことがあった。」

「今日は、昨日よりもっと良いことが起こりそうだ。」

「明日は今日よりももっともっと良いことが起きそうだ。」

皆さんは、何を言ってるんだか理解できないでしょう。今回第66回東海四県スポーツ推進委員研究大会に参加し、1日目の基調講演「チームを活性化する言葉の力」スポーツ現場に学ぶペップトークで演者岩崎氏が講演された内容の一部です。私自身「ペップトーク」という言葉は聞いたこともなく知る由もなかった。講演を聞いているうちに自分にあてはまるが多々あったように感じる事が出来ました。

ペップトークは、自分を鼓舞する。仲間、部下、同僚をその気にさせる言葉。

今までは、仕事がうまくいかない時には、人のせいにする自分がいた。何をやるにも失敗をしたら間違いをしたらと悪いことばかり考える自分がいた。

メジャーリーガーのイチローも言っている。「壁と言うのはできる人にしかやっこない。超えられる可能性がある人にしかやっこない。だから壁があるときは、チャンスと思っている。」

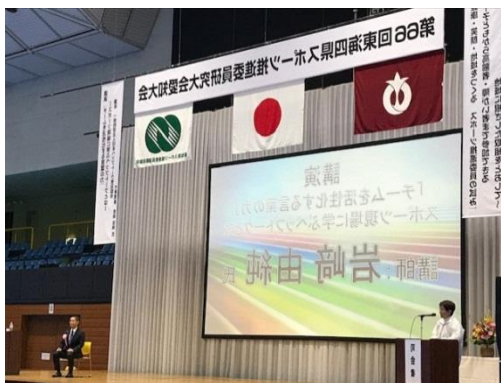
不調な時こそ試される、あなたの実力、不運な時こそ試されるあなたの能力、最悪なのは実力を出し切れず負けること。(自分)に勝ち負けは、もちろん重要だけどこれからは、まずは実力を出し切ることに集中しようと考えてることとなりました。

何を行うにも自分は、「できる。必ずできる。絶対にやりきれる。」

短い言葉で勇気づける。ポジティブな言葉を繰り返し自分に吐くようにしようと考えています。初めての東海四県スポーツ推進委員研究会に参加させていただきありがとうございました。

ペップトークの例を載せておきます。

- ①他人の言葉を気にするよりも自分が口にする言葉に気を配ればいい人生となる。
- ②人のことを憎み始めたら暇な証拠。
- ③行動してもすぐに結果は出ないが結果は全て行動し続けたところから生まれる。
- ④夢は頑張ると叶わない。力を抜いて楽しむと勝手に叶う。



嶋崎 英逸

ウォーキングサッカー



平成31年2月24日(日) エスパルスドリームフィールド藤枝

イギリスで発祥したウォーキングサッカー。

名前の通り、歩いて行うサッカーで更に相手と体の接触もヘディングもだめ。ボールをキープしている時は取りに行ってもだめ等々。だからサッカーをやったことのない人でも、女性でも楽しくできるウォーキングサッカー。17名が参加し楽しい体験をしてきました。

ウォーキングサッカーって何？聞いた事もないけど、まあウォーキングって事は走らなくていいじゃん。体力のない僕には、いいんじゃないかと思い参加しました。

実際そんなに大変じゃない、しかも楽しい体験会でありました。

最初は、歩きながらのウォーミングアップで知らない方とも自己紹介をしながら、とにかく笑顔で楽しくやる事が出来ました。

ゲームに入ると、とにかく走ってはダメ、いざボールをもうらうと走ってしまいそうになる自分。それを抑えるのにちょっと苦労しました。エスパルスルールとして、女性のボールを持つと、女性のボールを取りに行ってもダメ、コースに入ってもダメという、無茶苦茶なルールが突然発足されましたが、それもかえってとても楽しい物となり、みんな笑顔でした。なにより休憩には、お茶、コーヒーの飲み放題、お菓子の食べ放題も良かったです。2時間程の体験会でしたが、もう少しゲームとかもやりたかったかなと思いました。

とにかく、みんな笑いながら楽しく体験できました。これなら女性から僕のような体力に自信のない方も楽しめると思いました。

また、この様な体験会がありましたら、参加したいと思います。

とっても楽しかったです。



小田 修一

第26回ふじえだマラソン

平成31年3月10日(日) 藤の瀬会館前スタート



恒例のふじえだマラソンが今年も藤の瀬会館をメイン会場として3km・5km・10km・ハーフの各コースで約2,500人が健脚を競い合いました。

スポーツ推進委員1年目の新人の中光です。平成31年度第26回ふじえだマラソン(3月10日)に総合案内係として参加させていただきました。本大会は県内はもとより、全国各地から約2,500人の皆様をお迎えし、藤の瀬会館前をハーフ(9時)、3km(ジョギング・ペア)(9時10分)、10km(9時20分)、5km(9時30分)の順にスタートしゴールを目指して皆さん奮闘されました。

総合案内係として当日体調不良の為、参加出来ない人及び棄権者へのチップ回収、参加賞の配布等また特別賞(遠来賞・健康賞)の配布業務がありました。それ以外に完走証が出ない、記録の賞状が出ない、賞状と貼り出された順位が違う等のクレームが多数持ち込まれました。測定業者のトラブルに起因しているかと推測されますが、来年度はこの様な事が無い大会を目指して頑張りたいと思います。

中光 正行

3月9日ふじえだマラソンのボランティアとして、大会前日の準備作業に従事しました。当日、午前9時に藤の瀬会館に集合し、会館から大出橋付近まで、コーンの設置を行いました。

大会当日は、午前6時半に瀬戸谷中学校に集合し、ゴール付近での参加賞、水渡しを担当。完走証の発行がプリンターの不具合でスムーズでなかったことも重なり、特に混み合うこともなく、無事終了しました。約2,300名の参加者が、それぞれ各自の目標を持ち、完走されているのを見て、大いに感銘を受けました。

飯村 政明



1年経験して・・・



昨年の4月よりスポーツ推進委員となり、一年間お世話になりありがとうございました。活動内容も全く判らないまま引き受けた訳ですが行事の多さには驚きました。更に地域での活動も加わりあつという間の1年でした。推進委員になったおかげで自身も健康に気を遣うようになり、最近ジョギングを始めましたが、なかなか結果がでません。今後も継続してがんばって行きたいと思います。

報告ですが、3月始めに行われた勤労者体育館でのファミリーバドミントンの結果です。我がチームは、8戦全敗勝点ゼロの結果となりました。勝敗は抜きにして珍プレーありの大変楽しい1日でした。

来年度も推進委員として、スポーツを通して健康増進を推進して行きたいと思いますので、宜しくお願いします。

石田 鉦一

編集後記

広報部 田中弘幸

皆さん1年間のスポーツ推進活動、ご苦労様でした。

特に昨年初めてスポーツ推進委員になられた方々は、普段取り組んだことのないスポーツをやらされ、何をしたらいいのかわからないままあつと言う間に過ぎ去った1年だったと思います。しかしながら、今の委員の方々は全員の方が主旨をよく理解され、いろんな行事にも積極的に参加してもらい非常に助かりました。ありがとうございました。

さて、めっきり春らしい陽気となり、巷では別れと出合いのシーズンがやってきました。

スポーツ振興課内においても数人の異動があるようですが、我々スポーツ推進委員は任期がもう1年あります。この1年は更なる向上を目指して、地元地域住民の為、スポーツを愛する人たちの為、ニュースポーツ普及の為、最後は自分の為にも一生懸命に諸活動に邁進していきましょう。

